

各 位

2014年6月4日
SBIホールディングス株式会社

韓国政府系機関からの「デジタルコンテンツファンド」および「2014KIF ファンド」の運用受託について

当社グループの韓国におけるベンチャーキャピタルである SBI インベストメント코리아株式会社（本社：韓国ソウル市、代表取締役：高橋 良巳、以下「SBI インベストメント코리아」）は、このたび韓国の行政機関である未来創造科学部より「デジタルコンテンツファンド」（出資金総額 250 億韓国ウォン、約 25 億円）の委託運用会社を選定されるとともに、韓国政府傘下の韓国通信事業者連合会（英文名称：Korea IT Fund、以下「KIF」）より「2014KIF ファンド」（出資金総額 300 億韓国ウォン、約 30 億円）の委託運用会社を選定されましたので、お知らせいたします。

記

1. 「デジタルコンテンツファンド」の運用受託について

「デジタルコンテンツファンド」は、韓国経済の今後の成長を担う主力分野とされているコンテンツ産業と IT 産業の融合を促進するために、主として同分野での技術開発やビジネスモデルの創造・開発を行っているベンチャー企業に投資を行うことを目的としています。このたび 1 社の運用会社が募集され、SBI インベストメント코리아が選定されました。これはファンド組成提案において、韓国を代表するアニメーション制作会社、大手オンラインゲーム開発・運営企業、および大手芸能事務所等が出資者として参加する点が評価された結果だと考えております。

当ファンドの出資金総額 250 億韓国ウォンのうち、未来創造科学部が 125 億韓国ウォン（約 12.5 億円）を出資するほか、SBI インベストメント코리아が 25 億韓国ウォン（約 2.5 億円）、残り 100 億韓国ウォン（約 10 億円）を韓国内の事業法人を含む投資家が出資し、2014 年 8 月末までに組成を行う予定です。

2. 「2014KIF ファンド」の運用受託について

KIF は韓国政府傘下で管理される、国内通信業者 3 社の出資で組織される連合会です。同分野に関わる産業育成のためのファンドの募集を定期的に行っており、韓国ベンチャー市場の象徴的な投資家の一つです。このたび一般 IT ファンド 2 社の運用業者選定が行われ、SBI インベストメント코리아がそのうちの 1 社に選定されました。

当ファンドは韓国通信・IT 関連産業に関わるベンチャー企業を主な投資対象としており、出資金総額 300 億韓国ウォンのうち、KIF が 170 億韓国ウォン（約 17 億円）を出資するほか、SBI インベストメント코리아が 60 億韓国ウォン（約 6 億円）、残り 70 億韓国ウォン（約 7 億円）を韓国内の機

関投資家が出資し、2014年8月10日までに組成を行う予定です。

KIFからは2011年にもSBIインベストメント코리아が「モバイルベンチャーファンド」の運用を受託しておりましたが、同ファンドの投資実行が順調に進んでいることに加え、そのポートフォリオの優秀性が評価されたことが、このたびの「2014KIF ファンド」の運用受託に寄与したと考えております。

SBIインベストメント코리아は、2014年5月にも韓国政府系機関より「KONEX市場活性化ファンド」および「海外進出プラットフォームファンド」の運用を受託しており、このたびの「デジタルコンテンツファンド」および「2014KIF ファンド」の運用受託により、5月～6月に募集された政府機関の新設ファンド4本の運用受託に成功したことになります。今後、これらのファンドからの投資を通じて韓国の産業発展を支援していくとともに、ファンド収益の拡大を目指してまいります。

※1ウォン=0.100円にて換算

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126